

# アフリカのスポーツ

## アフリカのサッカー

### ①欧米白人の娯楽

欧米生活の再現

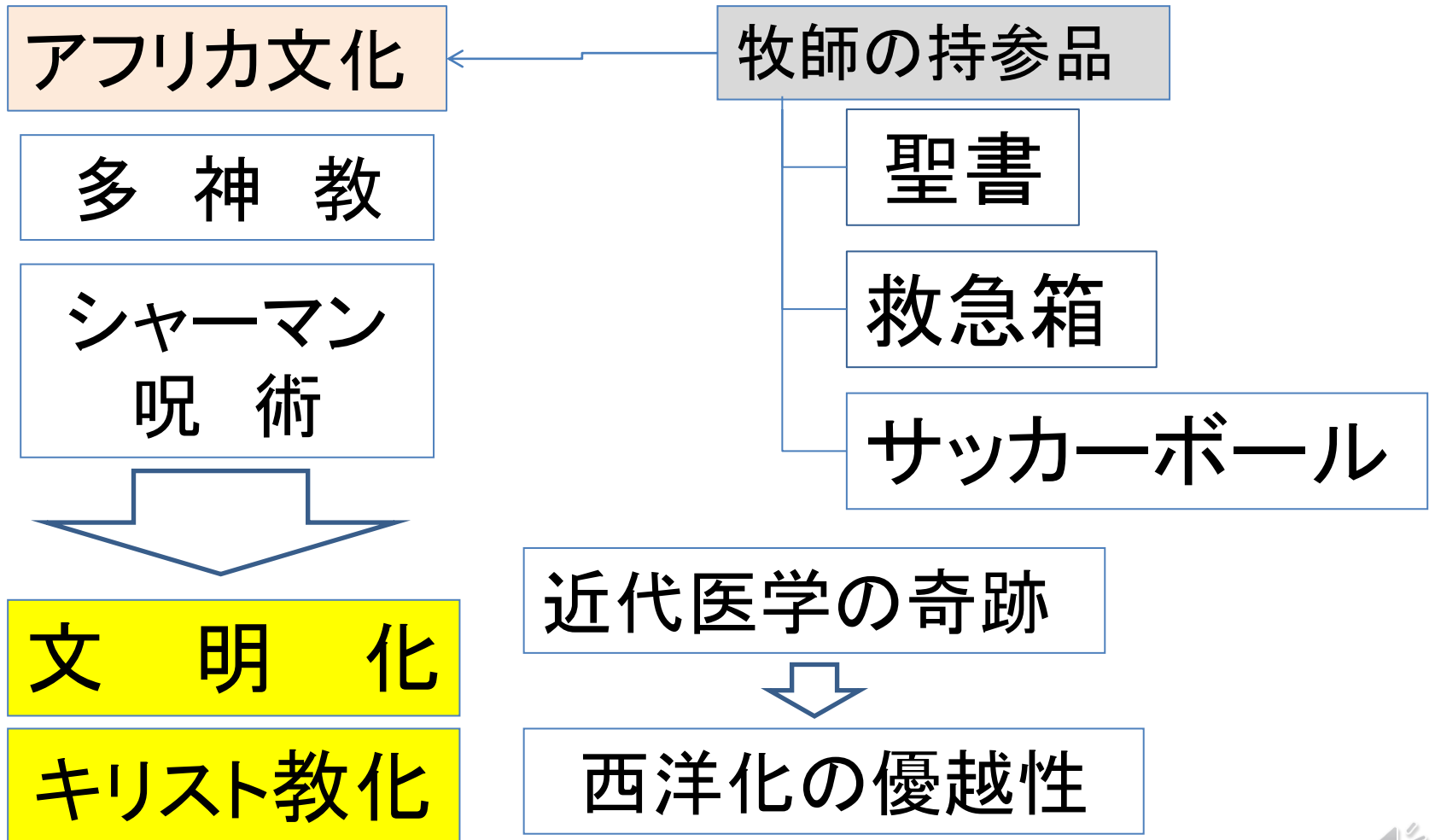
### ②原住民共通の言語、文化

共通の媒体

部族統一



# アフリカのサッカー



# オリンピック・WCとサッカー

## ①北部アフリカリーグ

エジプト

軍人のサッカークラブ

## ②ブラックアフリカリーグ

コンゴ、ガーナ、カメルーン

宣教師の布教活動

## ③南部アフリカリーグ

南アフリカ共和国



アフリカサッカー連盟  
(CAF 1956)



アフリカ統一機構  
(OAU 1963)

キューバ革命(1959)

エチオピア、スーダン  
エジプト、南アフリカ

アパルトヘイト

アジア・アフリカの  
ナショナリズム

アフリカネイションズカップ

アフリカチャンピオンズカップ

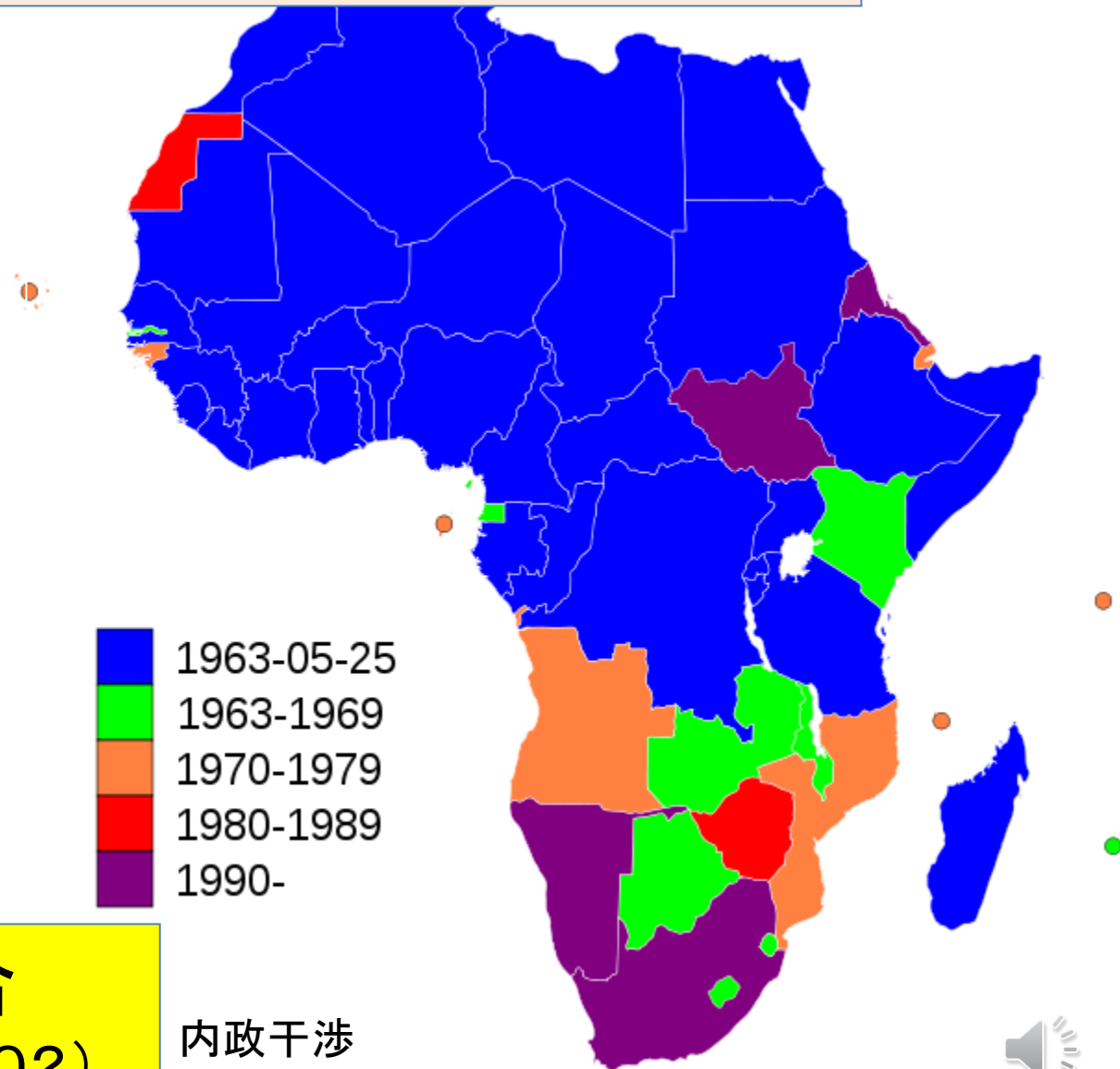


# アフリカ統一機構 (Organization of African Union 1963)

内政不干渉

## 目的

- \*国連憲章と世界人権宣言を尊重
- \*アフリカ諸国の統一と連帯を促進
- \*人民の生活向上のための相互協力・調整
- \*国家の主権と領土を守り、独立の擁護
- \*新植民地主義と闘う
- \*1963年5月25日発足



アフリカ連合  
African Union (2002)

内政干渉



# カメルーン:

独立以前

①白人の黒人  
支配政策

②白人の娯楽  
＝サッカー

1960年独立後

①社会・経済状態

世界最貧国の一つ

黒人の部族間対立

②サッカー・ナショナリズム

アフリカ選手権

国際大会

代表選手の処遇



# 南アフリカ共和国

## アパルトヘイト時代

### ①人種隔離政策

白人の都市居住と黒人の郊外スラム

### ②スポーツ政策

スポーツ施設・大会の人種別参加  
国際大会(国家代表)は白人チーム  
1964-1988年IOC除籍

アパルトヘイト廃止(1994)後



### ①N.マンデラ大統領の人種融和政策

スポーツ・ナショナリズム

### ②スポーツ政策

1995年ラグビーワールドカップ優勝  
1996年アフリカ選手権優勝  
**2010年ワールド・カップ開催**



# アフリカサッカーのボーナス問題

植民地政策：

原料・資源の輸出

工業製品の輸入

産業基盤の未整備

教育 制度の不備

(科学技術)

現金＝プロスポーツ

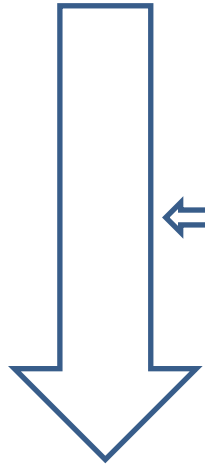
貧困





# 大島鎌吉とアフリカ

人口爆発、戦争、飢餓



アフリカの政治・経済的支援

アフリカでのオリンピック開催

アフリカの自立・発展



## 1982年大島鎌吉のオリンピック平和活動

- \* 5月前後。反核三千万人署名運動の牽引者となる。
- 5月。**大島アピール「オリンピックと世界平和(飢えに泣く難民に救済の手を)」執筆。**
- 6月。関西学生陸上競技連盟欧州遠征チーム 派遣。
- 7月。国際オリンピック参加者協会総会出席、同協会アジア担当副会長に就任。
- \* 7月。**ジーフェルト賞(オリンピック平和賞)受賞。**
- \* 10月。**ノエル・ベーカー卿**逝去。
- 11月。ベルリンスタジアム平和の鐘に、第二次世界大戦歿日本五輪選手三十名の氏名奉納。



# 大島鎌吉：オリンピックの 아프리카開催提唱

大島の国際状況認識：五輪の 아프리카開催に向けて  
スポーツする友人たちへ：

今の姿の世界をそのまま流しておいてよいのでしょうか？

核禁や軍縮はおろか、第二のデタントさえ足踏みしています。一方、開発途上国を襲った痛ましい飢餓は、恒久化して容易に解決しそうにありません。問題はこれから次々と起こってくるでしょう。

この時、運命共同体を乗せた地球船に平和の手がかりを掴もうとするなら、とりあえず二つの道があるように思われます。

- 1 核禁軍縮運動＝政治的な世界平和への指向と努力。
- 2 オリンピック運動の推進＝スポーツを普及振興して健康・体力を育て、精神を強化、オリンピック中心の交友を拡大する。

この二つを車の両輪として、世界中に国民運動が起こらなければなりません。

同じ船に乗る人々を見渡すと、四六億人のうち飢えに泣く六億人の哀れな姿が見られます。開発途上国を襲っている人為的、宿命的な貧困と食べ物不足が原因です。解決にはうんと時間があるでしょう。だが、見過ごすわけには参りません。誰かがその第一歩を踏み出さねばならぬ時が来たと思います。pp54-55



1930	ウルグアイ	なし
1934	イタリア	エジプト
1938	フランス	なし
1966	イングランド	なし
1970	メキシコ	モロッコ
1974	西ドイツ	コンゴ(ザイール)
1978	アルゼンチン	チュニジア
1982	スペイン	アルジェリア、カメルーン
1986	メキシコ	アルジェリア、モロッコ
1990	イタリア	エジプト、カメルーン(ベスト8)
1994	アメリカ	ナイジェリア、モロッコ、カメルーン
1998	フランス	ナイジェリア、チュニジア、南ア、モロッコ、カメルーン
2002	日本、韓国	ナイジェリア、チュニジア、南ア、セネガル、カメルーン
2006	ドイツ	チュニジア、トーゴ、ガーナ、アンゴラ、コートジボワール
2010	南ア	ナイジェリア、アルジェリア、カメルーン、ガーナ、コートジボワール、南ア
2014	ブラジル	



## 参考文献

BBC,History of Football,NHK2002年5月放送

伴義孝・中島直矢『スポーツの人 大島鎌吉』関西大学出版部 平成5(1993)年

D.B.バンダーレン、B.L.ベネット(加藤橘夫訳)『新版体育の世界史』ベースボールマガジン社1976年

